

東京薬科大学 薬学部 カリキュラム・ツリー (2023年度)

ディプロマ・ポリシー：DP

DP1 豊かな人間性と生命の尊厳についての基本的な教養を身につけている。

DP2 医療の担い手として、人の命と健康な生活を守る使命感、責任感及び倫理観を身につけている。

DP3 薬剤師に必要な任務と法令を理解し、専門分野の基礎的な知識・技能・態度と実践的能力を修得している。

DP4 地域医療、チーム医療等の現場で患者や他の医療従事者と良好なコミュニケーションをとり、チームの一員としての役割を果たすことができる。

DP5 薬学・医療の進歩と改善に資するための研究的思考、問題発見・解決能力を身につけている。

DP6 生涯自己研鑽を続けるために必要な情報の活用とともに、次世代への指導能力を持っている。

卒業
コンピテンス

- ① 生命・医療倫理
- ② コミュニケーションとチーム医療
- ③ 薬学及び関連領域の知識
- ④ 薬物治療における専門の実践能力
- ⑤ 社会貢献
- ⑥ 薬学・医療領域における科学的探求能力

学び

◆ 課題研究で学ぶ
◆ 統合して学ぶ

問題発見力
問題解決力

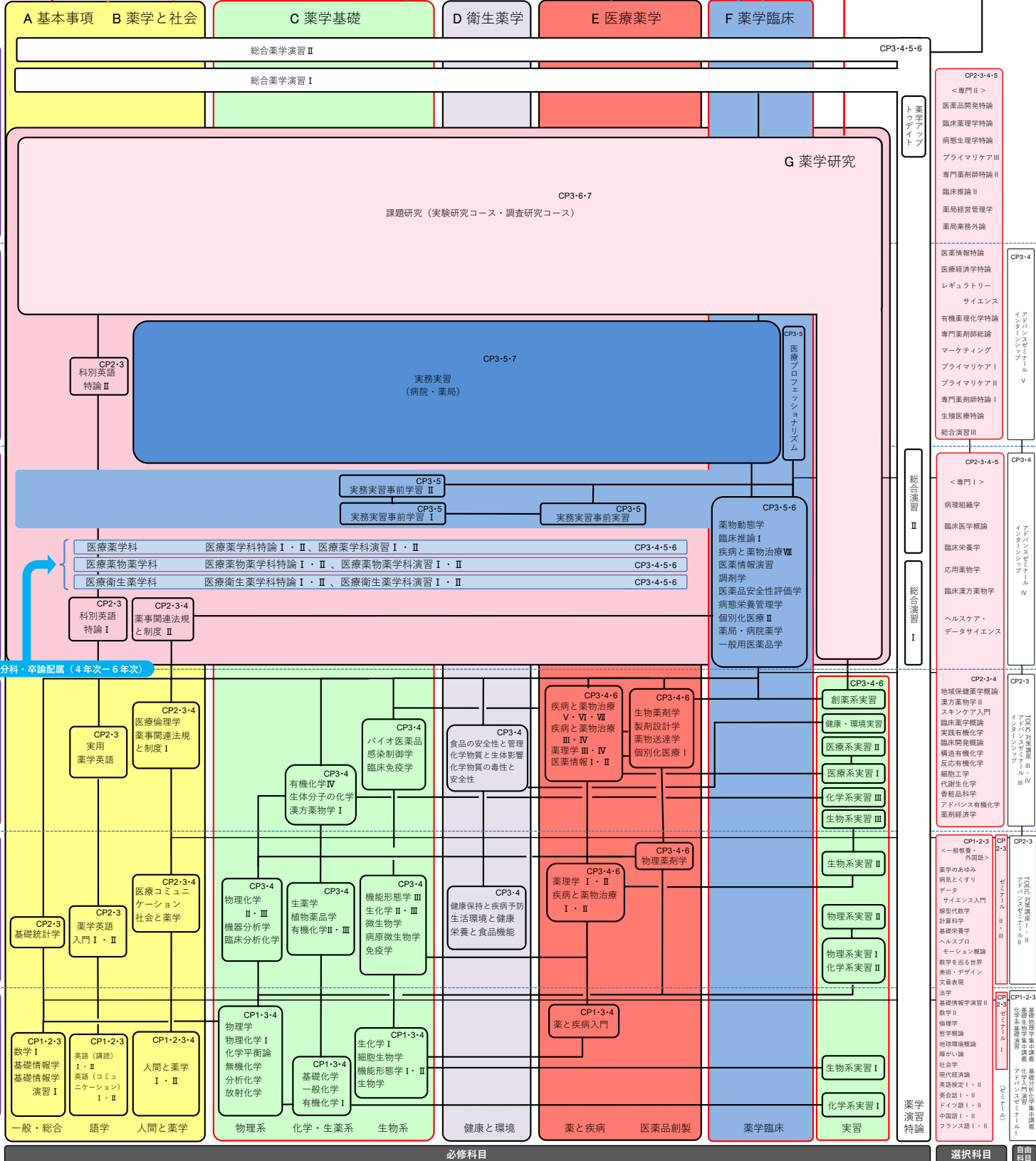
演習で学ぶ

現場で学ぶ

社会性

薬と生体を学ぶ・薬物治療と情報を学ぶ・実験から学ぶ
患者の心を学ぶ・薬と社会を学ぶ

薬学の概略を学ぶ
薬学入門



カリキュラム・ポリシー：CP

CP1 入学早期から薬学の基礎知識を身につけ、大学での学びがスムーズに移行できるように基礎科目・入門科目を配置します。
CP2 医療の担い手としての基本的教養（使命感、責任感、倫理観）やコミュニケーション技能を身につけるために、一般教養科目（必修・選択）、外国語科目（必修・選択）を配置します。
CP3 豊かな人間性と倫理観を有する医療人を養成するために、講義、演習、小グループ討議、PBL、実習、課題研究などの様々な方略を用い、医療の担い手として求められる知識、技能、態度の修得を図ります。

CP4 薬学の基盤となる「人間と薬学」、「物理系薬学」、「化学系薬学」、「生薬系薬学」、「生物系薬学」、「健康と環境」、「医薬品をつくる」、「薬と疾病」、各系の科目において、薬剤師に必要な専門分野の基本的な知識・技能の修得を図ります。
CP5 薬学臨床に関連する科目や臨床実習において、薬物療法、地域医療、チーム医療等を実践するための基本的な能力の修得を図ります。
CP6 高度な医療（臨床）薬学から医薬品開発に関連する科目や課題研究において、薬学・医療の進歩と改善に資するための研究的思考、問題発見・解決能力、倫理観の育成を図ります。
CP7 臨床実習や課題研究において、生涯にわたり自己研鑽を続けるための情報収集能力及び次世代を育成する意欲と態度の修得を図ります。